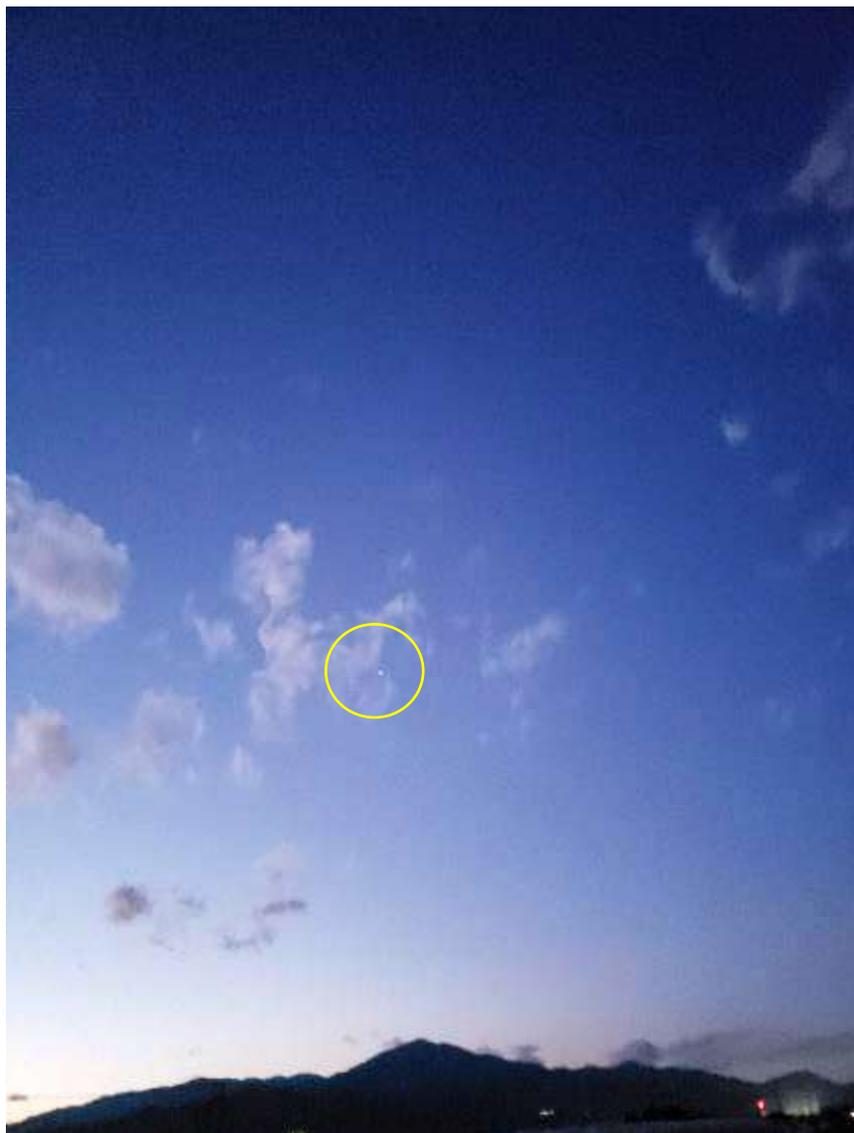


見ました、「ISS」の飛行

(2022. 2)

2022年2月6日 国際宇宙センター（ISS）の機体が、17時51分頃、寺田縄の上空を通過しました。スマホ撮影ですので鮮明に機体を見られませんが、記録しました。ご覧ください。

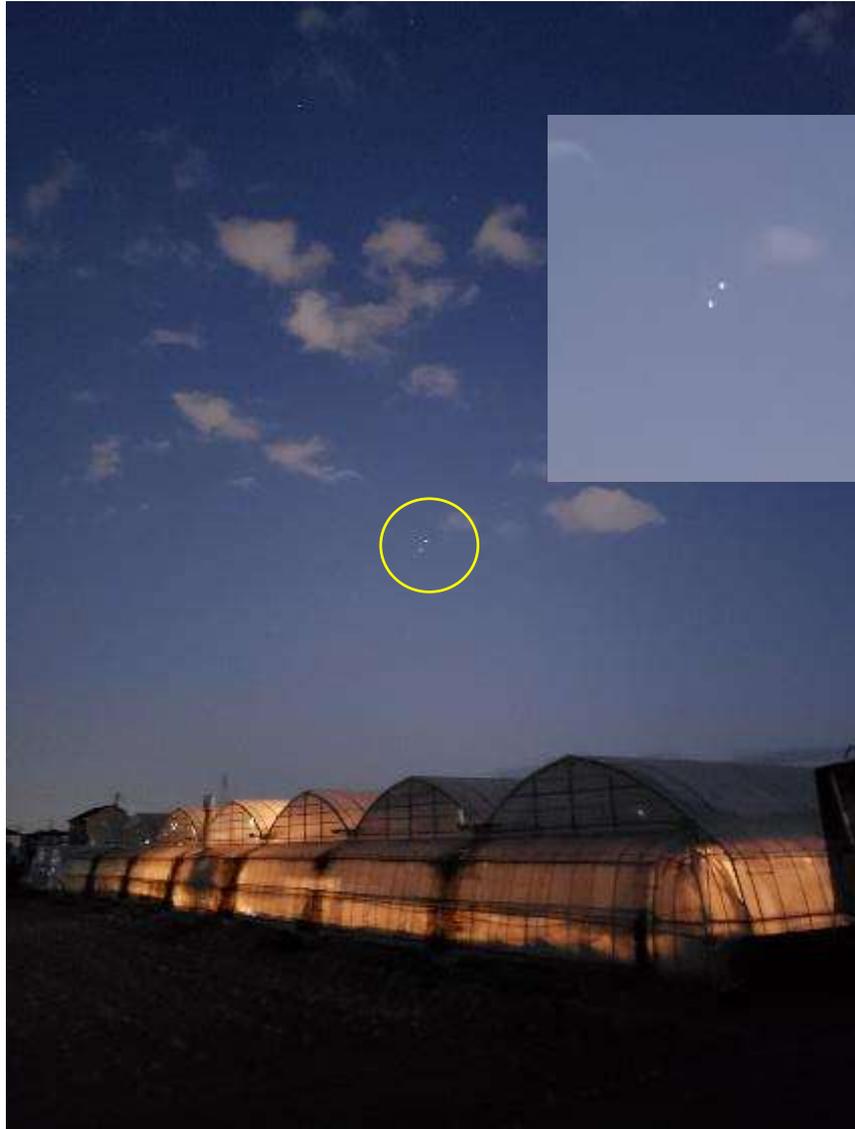


円内が、飛行する「ISS（国際宇宙センター）」の機体です。
北西の方角から登り、南東の方角へ沈みました。
シルエットの山は「大山」です。
静かに、スーと移動して行く姿は、人智を尽くした、計算された軌道です。
見とれてしまいました。



真上に差し掛かりました。大きく輝いています。
スマホでは白い点にしか撮影できませんでしたが、
肉眼では、ステーションの太陽光パネルらしき姿が、見えたように思われました。

次回は、カメラを三脚に固定し、移動の航跡を、また、望遠レンズで機影を撮影したいと思います。



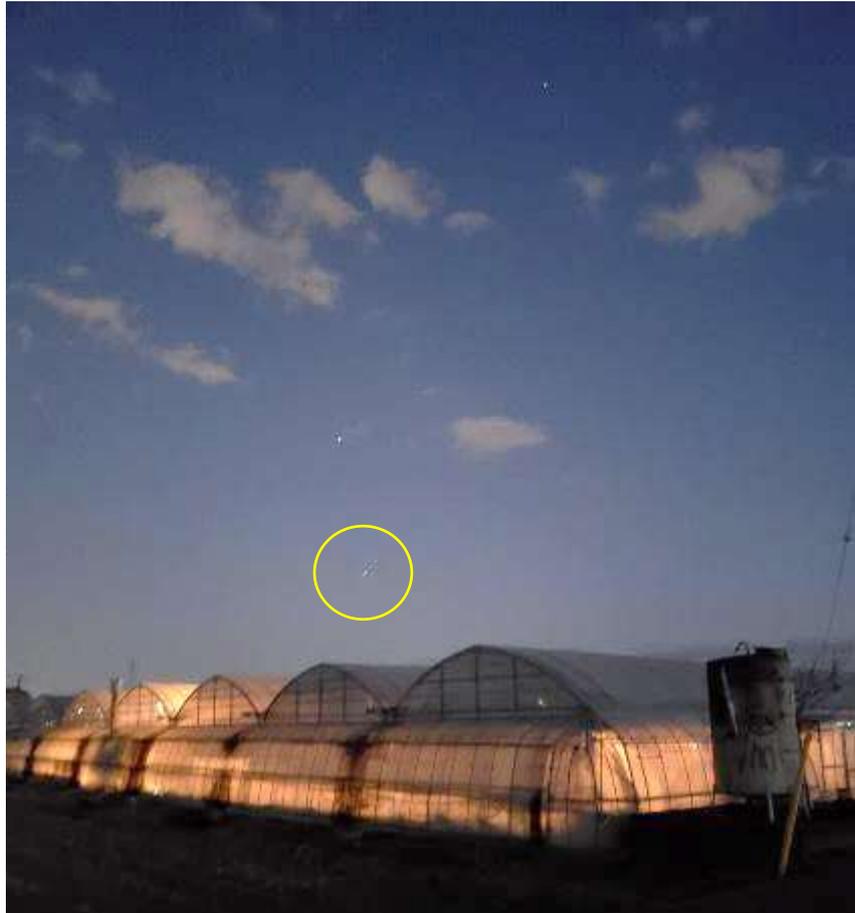
南東方向へ移動を続けたステーション、寺田縄のイチゴ温室のかなたですが、木星と至近に位置しています。木星との遭遇です。

(画面を拡大してください)

寄り添う二つの光は、お互い、まるでランデブーをしているようです。

あたかも、木星はステーションを待ちわびていたように・・・

それも、宇宙のいたずらでしょう、一瞬の出来事でした。



恋人から離れた、ステーションは、クルーをのせ、何事もなかったように南東の彼方へ、去って行きました。

☆彡 ISS (国際宇宙ステーション、International Space Station)

運用： アメリカ、ロシア、カナダ、日本、ヨーロッパ11か国で、各国が開発したシステムや装置を運用し、宇宙空間での様々な研究や実験を行っています。

日本は、「きぼう」と命名された実験棟を持っています。

また、地上から物資を輸送する、無人の補給船を種子島の宇宙センターから複数回打ち上げ、ステーションでの研究に資する活動をもたらしています。

大きさ： サッカー場がスッポリ収まる程

飛行高度： 約400km、

飛行速度： 約7.7km/秒、27,700/時、

約90分で地球を一周、24時間で約16周しています。

次回 神奈川県内の観察可能予定：2月19日(土) 5:42頃、新潟県方向
20日(日) 4:56頃 関東南・太平洋上
を通過します。朝早いですが、通過方向を見てください。